

# 地域で暮らしにくさを感じる方の支援

～日中活動、相談、グループホームの立場から～

【キーワード、地域生活、触法、行動障害、緊急時受け入れ、地域移行、施設文化、開いていく】

トータルケアセンター 安間孝明

プランセンターひくま 鈴木美絵

浜松協働学舎 大橋正季

## 1、はじめに

近年では民間からの参入も増え、放課後等デイサービス、就労移行、就労継続支援、グループホーム等、施設数や利用者数は増加の一途をたどっています。しかし、一方で触法や強度行動障害、医療ケアがある人々を受け入れる先は十分ではありません。「障害者支援施設」と呼ばれるようになった入所施設の地域移行も思うようには進んでいないのが実情です。地域で暮らす方々のための短期入所や緊急時の受け入れについても十分な体制ができている地域は少ないでしょう。

地域生活支援部会ではこのような実情に対し、触法障害と呼ばれる方々を支援している法人、相談支援に従事し様々な方々を担当する者、重たい障害を持った方々の地域生活支援を支える法人それぞれの立場から事例の提供とそれぞれの取り組みを紹介することで課題の共有ができればと考えています。

## 2、触法障害と呼ばれる方の支援

トータルケアセンターでは就労系の支援、グループホーム等を運営し、様々な障害を持った方々を支援しながら法律を犯してしまった方の支援も行っています。

人手不足や体制の脆弱性などを自覚しながらも、目の前の困っている人の受け皿にならねば誰がこの人を・・・という想

いで事業を行ってきました。

今回はその中でも対応に苦慮した事例を通して、専門家や関係機関とのかかわりを紹介したいと考えております。「人を変えるのは難しい」という現実も含め、今回の発表の機会に法を犯してしまった障害者の方への支援の輪が少しでも広がっていくことを切に願います。

## 2、相談支援専門員から事例提供

相談支援専門員は障害福祉サービスの利用をしている人を担当していますが、1人1人の生活は様々です。

今回は一般的に困難さが高いと思われる「家族に緊急事態が発生した場合の対応事例」、「家族ではなく、制度（重度訪問介護）を活用しての地域生活事例」の事例提供を行い、ご本人を中心とした地域支援体制について改めて知る機会になるとともに、地域での資源活用、資源開発に繋げていただけるとありがたいです。

## 3、強度行動障害と呼ばれる方の支援

社会福祉法人ひかりの園では、所謂強度行動障害と呼ばれる方の日中活動や暮らしの支援をしています。そうした方々の、主に暮らしについての実践報告、そうした特異な施設文化が生み出してしまう弊害についての抗い、現在進行中の入所施設の地域移行などについて事例提供を行います。

一方で、親御さんが高齢になっても受け入れ先が見つからない方からの入居希望を伝えられますが、全てにお応えできないのが実情で、ずっと歯がゆい気持ちを抱えながらの実践です。

この機会に是非多くの方から助言や意見を頂きたいと考えています。